

顛末書

会議の名称	北部地区小学校統合準備委員会 第5回通学・安全部会
日時	平成29年11月14日(火) 午後6時30分～午後7時55分
会場	北部公民館1階会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・出席委員12名 池田信一、小林妙子、長張むつ美、鈴木紀代子、須藤賢司、岩下定秀、佐藤嘉男、宮澤和三、佐藤秋穂、宮澤俊樹、松井真由美、綿貫京子 ・事務局職員 小林学校教育課長、阿藤学校教育課長補佐兼総務係長、久保施設係長、田中副主幹、池田指導主事
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 部会長あいさつ 3 会議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 通学方法等について <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関の活用について調整・検討。 ・科野小学校区の通学方法について調整・検討 4 その他 5 閉会
主な質問・意見等	<p>【公共交通機関の活用について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公共バスとスクールバスが同じ路線を並んで走るのはおかしいと思う。公共バスが利用できるのであれば検討し、積極的に利用をすすめるべきではないか。 ●高学年が6時間授業の日なら、帰りの時間であれば高学年に限っては可能かなと思う。高社中学校へ行く時もこのような形になるし、かつバス停も柳沢と柳沢北のバス停があるので、より近くで降りられるので良いと思う。朝は低学年も一緒という事を考えると、高学年であれば運転手さんがいれば良いと思いますが、低学年(1, 2年生)の事を考えると、「運転手さんプラス支援員さん」のように別にもうひとり居ないと、何かあった時の対応などあると思うので、低学年は公共交通の利用は難しいと思う。 ●公共バスを使うとなると、小学生、中学生との交流の場にもなるというメリットがあると思うが、低学年でも、どこで線引きするかが問題。都会では満員電車でランドセルを背負って通学している事を考えれば、公共バスのメリットも考え、低学年の問題もありますが、公共バスを利用する方向も前進させなければならないと思う。そういった意味で小、中学校の交流も重要視しなければならないと思う。 ●満員バスに乗りきれないという事はあるのか。 → 乗り残しはありえない。 ●公共バスを利用した場合の定期券代の負担は。 → 市で負担する。 ●時間は変更できるのか。 → 時刻改正は厳しいと思う。 ●ふれあいバスの増便が可能であれば、赤岩の上の方の地区の方とか深沢、越の方がわざわざJA科野支所まで来なくても、ふれあいバスで十分に乗れる。こちらのほうが便利かなと思う ●学校がバスの時刻に合わせるのか、長電さんが学校に合わせてくれるのか。 ●路線バスにした場合、マナー的な事も気になる。長電バスさんまでここまで許容範囲を広げてくれるか。 ●利用者が増えれば長電も便を増やしてくれるのか ●1時下校や2時下校など、下校時刻が早くなることもある。便が沢山

	<p>あるのでそんな時でも使えるかなとは思いますが、朝夕の広い道を通るバスは大きなバスが通っているかなと思うが、真ん中の昼の便は大型バスではないのかなと思う。乗れるか心配。</p> <p>【科野小学校区の通学方法について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●越区において、南越、北越では条件が違うので検討してほしい。 ●歩道の設置がない箇所もあると思われるが、具体的な徒歩通学の路線を示してほしい。 ●スクールバスのバス停を含め、運行ルートの見直しを検討してほしい。 ●深沢区の児童が乗車するバス停を検討してほしい。 ●歩くことの大切さ等は十分に理解している。
<p>今回のまとめと次回の検討事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●公共交通機関の利用について、今回の意見と課題を整理し、検討を進めることとした。 ●科野小学校区の通学方法について、距離的にも方針通りの通学方法を前提に、特別な事情の有無について協議するほか、具体的な通学路を示し再度安全確認を行う。また、運行ルート、バス停についても、引き続き、公共交通の利用と並行して検討を行うこととした。